|  |
| --- |
| **本事業で開設するプログラム(b:職業実践力)**【①～⑤合わせてプログラム毎に3ページ以内】○複数のプログラムを開設する場合は、様式を複製の上プログラムごとに作成してください。 |
| **①プログラム名称** |
|  |
| **②プログラム責任者** |
| （職名） |
| **③プログラム受講者の募集方法・見込み数** |
| 【募集方法】　（例）ハローワークからの紹介、Web募集、地域誌掲載　等具体的に記載すること。【プログラム受講者見込み数】　　○名（主な受講者の想定　失業者、非正規雇用労働者、転職希望者等）　 |
| **④教育内容（授業科目等）及び教育方法** |
| 【プログラムの内容】 |
| 目的・概要 | 失業者等の学び直しを推進するため、本事業においてどのようなプログラムを開設するのか概要を記載してください。既存のプログラム等をカスタマイズする場合は、どの箇所が新規要素であるか明確に記載願います。 |
| 履修資格 | 高等学校卒業以上としている旨を明記してください。その他に履修資格を設けている場合には併せて記載してください。（例）・学校教育法第９０条に規定する大学に入学することができる者・○○の経験を有する者・○○に従事する者 |
| 総授業時数・期間及び要件該当授業時数 | 総授業時数：○○時間　※６０時間以上であることが必要です○ヵ月間要件該当授業時数：○○時間　※総事業時数のうち、５割上の要件該当授業時数が必要です |
| 職業の種類 | （例）○○における○○の担当者、○○に従事する者、○○であり○○を目指す者厚生労働省編職業分類（https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw\_job\_dictionary.html）を参考に記載してください。 |
| 修得可能な能力 | ■身に付けられる知識、技術、技能　（例）○○に関する知識　○○の技術、技能■得られる能力　（例）○○できる能力　○○の能力 |
| 教育課程 | 座学と実習又は現場実習を組み合わせることなど可能な限り具体的かつ詳細に記入してください。企業と連携してプログラム内に職場見学・職場体験を盛り込んでください。職務遂行に必要な知識・技能の修得を目的とした内容を含めてください。また、必要に応じビジネスマナー等、就職や転職等のキャリアアップの可能性を高めることができる知識等の付与を目的とした内容を含めてください。（例）○○学＜科目＞や△△論＜科目＞等により基礎的な～～に関する知識を修得するとともに、△△実習Ⅰ（Ｘ時間）＜科目＞において～～の実験、□□学＜科目＞において～～の実地調査やグループ討議を行うこと等により、～～に関する知識・技術を修得させる。その過程において、特に～実践的な授業方法等（例えば、実験や実地調査、グループ討議等）を行うことにより、～～能力を修得させる。 |
| 修了要件（修了授業時数等） | ○単位以上の取得（○○時間以上の履修）、○○の提出及び審査の合格 |
| 修了時に付与される学位・資格等 | 履修証明プログラムの場合は「履修証明書」が付与される旨を記入してください。また、修了時に独自の資格等を付与する場合には、併せてその名称を記入してください。（例）履修証明書、○○修了証、○○士、○○マイスター |
| 成績評価の方法 | 出席状況、筆記試験の成績、プレゼンテーションの内容、○○、○○・・・を総合的に判断する。 |
| 自己点検・評価の方法： | 学校教育法第109条第１項に定める評価を実施する。「○○委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。 |
| 修了者の状況に係る効果検証の方法 | 修了者に対し、○○や○○を実施し、その結果を○○することにより効果を検証する。 |
| 企業等の意見を取り入れる仕組み | （教育課程の編成）○○及び○○により組織する○○委員会（会議）において、○○することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。（自己点検・評価）○○するための○○委員会（会議）において、○○することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。 |
| 社会人が受講しやすい工夫 | （例）夜間、土日やeラーニング、短期集中開講等科目については、４つのうちの１つ以上の方法に該当すれば要件該当科目となります。また、課程全体では２つ以上の方法に該当する必要があります |
|  |
| 【授業科目一覧】※欄が不足する場合は、適宜追加してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分類 | 科目名 | 授業時数 | 対面･遠隔 | 企業等 | 双方向 | 実務家 | 実地 | 担当教員･実務家名 | 教員・実務家の所属 |
| 必須 | ○○論 | 4 | 遠隔 |  |  |  |  | ○○　○○ | ○○大学○○学部 |
| 必須 | ○○実習 | 3 | 対面 |  | ○ | ○ |  | ○○　○○ | ㈱○○ |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 大学に所属する実務家教員については、所属の後ろに（実務家教員）と記載してください。 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

【教育方法】総授業時間数の５割以上を以下、２つ以上の教育方法による授業で占めることを記載してください。①　実務家教員や実務家による授業　②　双方向若しくは多方向に行われる討論（ワークショップ）③　実地での体験活動（インターンシップ、現地調査等）を盛り込む　④　企業と連携した授業（フィールドワーク等） |